



# 同窓会報

第18号 発行日 令和8年6月1日



令和7年7月19日 令和7年度懇親会

## 同窓会長ご挨拶



武田 一郎

文理学部体育学科同窓会の会員の皆様におかれましては、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。また、日頃より同窓会の活動にご理解とご協力、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

私は昨年7月に開催されました同窓会代議員会において会長として承認いただきました20期の武田一郎と申します。小野前会長から歴史と伝統ある同窓会の会長を引き継ぐことな

り、また、2028年日本大学文理学部体育学科70周年を迎える節目の時でもあり、その重責に身の引き締まる思いであります。微力ではございますが、精一杯務めさせていただきますのでどうぞよろしくお願いいたします。

同窓会の活動については、歴代の会長より受け継がれております「会員あつての同窓会・体育学科あつての同窓会、そのためには双方にとって魅力ある同窓会であらねばならない」の言葉を肝に銘じて、さらに「絆」を深める活動を続けてまいりたいと思います。そのためにも各界でご活躍の諸先輩方と若い同窓生との交流を重ね、同窓会活動をより一層活性化させてまいりたいと思います。そして、体育学科及び体育学科同窓会の周年行事を成功させるために、「チーム体育学科同窓会」として皆様のご協力を願います。

そして、これまで会長としてご尽力いただきました小野前会長と日頃より

ご指導いただいております文理学部長と体育学科の先生方にあらためて感謝の意を表しますとともに会員の皆様のより一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

### 目次:

令和7年度事業報告

人事異動のご挨拶

卒業生・在学生の活躍

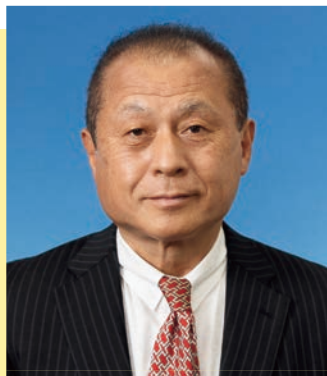
代議員会のご案内

体育学科の「今」

インフォメーション

# 令和7年度 事業報告

## 会長退任及び名誉会長就任のご挨拶



小野 力

日本大学文理学部体育学科同窓会の会長を退任するにあたり、謹んでご挨拶申し上げます。

私はこの九年間、会長として同窓会の運営に携わってまいりましたが、その歩みは会員の皆様をはじめ、多くの

関係者の温かいご支援とご協力に支えられてきた賜物でございます。ここに心より深く感謝申し上げます。

同窓会は、世代や立場を超えて人と人とを結び、母校への思いを共有し合うかけがえのない場であり、その存在意義は時代とともにますます重要性を増していくものと確信しております。

これまで温かくご指導くださった、青山先生をはじめ文理学部体育学科の諸先生方に対し、改めて深甚なる敬意と感謝の意を表します。在任中は至らぬ点も多々あったことと存じますが、皆様のご理解とご厚情により、大過なく職責を全うすることができましたことは、何よりの喜びでございます。

今後は新たな会長として、武田一郎氏(体育学科20期)が就任されます。豊かな見識と優れた行動力を兼ね備えた新会長のもと、本同窓会がさらに結束を強め、より活気に満ちた組織として発展していくことを心より願っております。

会員の皆様におかれましては、これまで同様、変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、退任後は名誉会長として引き続き会の発展に尽力してまいります。長きにわたり賜りましたご厚情に改めて感謝申し上げます。退任のご挨拶いたします。末筆ながら、皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

## 令和7年度代議員会

令和7年7月19日、日本大学文理学部3号館にて、「令和7年度日本大学文理学部体育学科同窓会代議員会」を開催いたしました。開催にあたり、第20期武田会長より挨拶を賜り、伊佐野幹事長代理の進行で、当日の出席者の中から議長2名が選出されました。

事業報告では、毎年、東京都保健体育教師会(同窓会下部組織)が、

「東京都教員採用試験二次試験対策講座」を実施し、教員を目指す学生や卒業生に対して面接練習等の支援をしていることが報告されました。

同窓会運営の1つの問題点であった、同窓会活動の認知度について、様々な同窓会事業を通して、同窓生だけでな学生とも繋がる機会を増やしていくことが同窓会事業の活性化につながると感じました。

同窓会事業の他、決算報告および予算案の審議・承認が行われ、代議員会は滞りなく終了いたしました。



令和7年度開催の様子(於 日本大学文理学部3号館)

## 第52回冬季スキー指導者研修会(令和8年3月27～29日)

場所:志賀高原スキー場  
宿舎:志賀高原高天原スキー場

昨年より2泊3日に日程を変更して実施しておりますが、講習時間は、3泊4日で実施していた際と同様の時間数を確保し、実施しておりましたので、集中して充実した研修になっていると感じられます。参加者の総数は、講師を含めて20名でしたが、途中参加の方より全日程の参加者が増えております。今回は、3日間天候にも恵まれ、まさに春スキーというコンディションでしたが、満足のいく滑走量と講習ができたのではないのでしょうか。

例年通り、バッチテストも実施しま

した。1級と2級にあわせて3名が受検し、1級、2級それぞれ1名が合格いたしました。残念ながら合格できなかった方もおりますが、受検された方々のさらなる挑戦をお待ちしております。

現地で早田卓司先生、北村辰夫先生にお会いいたしました。体育学科からは伊佐野先生、橋口先生が参加してくださっています。恩師や同窓生にお会いできる機会を期待し、今後さらに多くの方々にご参加いただけることを願っております。



# 人事異動のご挨拶

## 退任のご挨拶



深田 喜八郎

2023年4月より体育学科助教として着任し、基礎教養科目である「健康・スポーツ教育実習」の教育・研究

に従事してまいりました。体育学科以外の学生と関わる機会も多く、運動が苦手、あるいは好まない学生もいる中で、少しでも身体を動かすことの喜びや大切さを伝えられるよう、日々授業に取り組んでまいりました。研究面では、「健康・スポーツ教育実習」の受講による非認知的スキルの獲得に関する論文を執筆し、スポーツが有する多面的な教育的効果について報告する機会を得ました。短い期間ではありましたが、母校である体育学科で教育に携わることができ、たいへん充実した日々を過ごすことができました。ご指導くださった先生方、そして多大なるご支援を賜りました事務の皆様、心より感謝申し上げます。

2025年9月より、杏林大学保健学部健康福祉学科に着任し、現在は養護教諭および保健科教諭の養成に携わっております。主に中学・高校の保健科における授業の展開方法について、模擬授業を交えながら指導しております。新たな教育の場で、児童・生徒の健康について考え、学びを深める日々大きな刺激を受けております。今後も体育学科で培った経験と知識を礎に、教育に真摯に向き合っております。

環境は変わりましたが、同窓生の一入として、今後も体育学科の発展に少しでも貢献できれば幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

## 転出のご挨拶



水上 博司

このたび2026年4月より三軒茶屋キャンパスのスポーツ科学部へ異動することとなりました。2006年4月に着任して以来、在職期間はちょうど20年となります。この間、主にスポーツ社会学やバレーボール、野外実習などの講義・実技を通じ、多くの学生の皆さんと有意義な時間を過ごすことができました。振り返れば、前職の地方国立大学では20~30名程度の少人数授業が中心でした。それが体育学科では一気に桁が変わり、時には200名を超える大人数を前に授業

をする日々となりました。正直なところ、当初は、受講生数の多さに戸惑い、どう自分の熱量を伝えるべきか、試行錯誤と失敗を繰り返す日々でした。そんな着任当初の葛藤からのこれまでの歩みは、私にとっての貴重な学びでした。体育学科生の皆さんには心より御礼申し上げます。

スポーツ科学部へ異動しましても、体育学科での経験を糧に、本学の発展にいっそう寄与できるよう精進してまいります。ありがとうございました。

## 着任のご挨拶



松浦 由生子

松浦由生子と申します。長い歴史と伝統を有する日本大学の一員として、新たなスタートを切ることができましたことを、大変光榮に存じます。

私は、広島大学医学部保健学科を卒業後、理学療法士として病院勤務を経験し、その後、早稲田大学大学院スポーツ科学研究科にて博士号(スポーツ科学)を取得いたしました。早稲田大学スポーツ科学学術院助手、新潟医療福祉大学健康スポーツ学科専任講師を経て、このたび日本大学文理学部体育学科に着任いたしました。

これまでは、理学療法士およびアスレティックトレーナーとしての臨床経験を基盤に、スポーツ医学に関する教

育・研究に取り組んでまいりました。特に、アスリートのスポーツ障害予防やコンディショニングに関する研究・実践に携わっております。

本学では、スポーツ医学や解剖学等の授業を担当し、学生が身体の構造や機能への理解を深め、それをスポーツ現場や教育現場に活かすことのできる力を養えるよう努めてまいります。今後は、日本大学の教育理念である「自主創造」のもと、教育と研究の両面から学生の成長を支え、体育学科ひいては本学の発展に寄与できるよう精進してまいります。何卒ご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。

令和8年4月1日付で日本大学文理学部体育学科に着任いたしました

# 卒業生・在学生の活躍

## 第60期 土屋正恵 ミラノコルティナオリンピック出場

2019年3月に文理学部体育学科を卒業、現在は青森県の弘果 弘前中央青果株式会社に入社し、同社の弘果スキーレーシングクラブに所属しております。在学中は、インカレの女子総合優勝を果たすことができ、2021年1月の全日本スキー選手権で総合優勝を果たしたことをキッカケにして、世界選手権2021に初出場することができました。翌年の北京2022五輪にも出場することができ、2023・2025年の世界選手権に連続出場し、2026年ミラノコルティナ五輪に出場することができました。これまで2度の五輪出場をつかむことができましたが、ミラノ大会は日本女子ではただ1人の選出となり、「日本代表の自覚を持って臨みたい。しっかりと成績を残さないといけないという使命感もある」と、心に期して出場しました。今回の五輪では、初戦で悔しい結果に終わった20kmスキーアスロンから気持ちを立て直し、納得できるレースができたのは、10kmフリー競技でした。天候・雪質・スタート順に恵まれ、納得のいく走り

ができたと感じています。課題だった序盤の遅れを克服し、スタートからフィニッシュまで全力で走りきれた点が良かったです。その一方で、自分の手応えと結果の差に歯がゆさもあり、満足の走りでも目標順位に届かなかった悔しさが残りました。最後に臨んだ一番の50kmクラシカルでは、初の50kmで不安が大きかったものの、完走できて安心しました。内容よりも「走りきれた」という事実には価値を感じています。体が完全に止まらず、最後まで動き続けられたことは大きな収穫となりました。

社会人での競技生活は8年目に入りました。大学時代の寮生活は大変でしたが、その経験が今の自立した生活(掃除・料理など)につながっていると実感しています。また、大学時代に信頼できる指導者との出会いがあり、卒業後も変わらず指導を続けてくれていることが、落ち込んでも頑張ろうと思える大きな支えになっています。私自身、学生時代は伸び悩んだ時期もありましたが、ここまで続けてきて本当に

良かったと思っています。才能はなかったとしても、継続することに意味があります。まだまだ伸びしろがある学生の皆さんは、諦めずに継続して欲しいと思います。体育学科では、周りの学生と共に学業に励み、教員免許状を取得することが叶いました。体育学科での経験を誇りにして、今後の競技生活においても支えていただける方々への感謝を忘れずに一歩ずつ経験を積み重ねて参ります。同窓生やOB・OGの方々よりいただく応援の積み重ねが、今の私を形作っています。これからも同窓生の一人として、世界を目指し、次の目標に向けた挑戦を続けていきます。



©Athlete365

## 第67期 栃谷天寧 U23世界選手権(クロスカンリースキー)出場



©skiglamour

2026年3月に文理学部体育学科を卒業し、同年4月よりJR北海道に入社し、社会人アスリートとしての活動をスタートさせています。在学中は、2022年にジュニア世界選手権に初出場してから、2024年から2026年はU23世界選手権に出場することができました。国内の全日本選手権では女子15kmクラシカルで3位。2025年のインカレでは個人種目3冠の完全制覇を達成することができ、2026年のインカレでは女子5kmクラシカルと3×5kmリレーでいずれも準優勝し、クロスカンリースキー部門の優勝と4年

ぶりの女子団体総合優勝に貢献することができました。U23世界選手権ではスピード感が国内のレースとは圧倒的に違うなと感じました。テクニックや持久力はもちろんですが、自分の出せるスピードを速くしていかないと世界では戦えないなと感じました。上位とのタイム差をもっと縮めていくためには、全力で出せるスピードや維持できるスピードをもっと上げていきたいです。

選手生活を送る中で、肩関節の脱臼に対する手術を経験したり、思い描いていたような結果をきれいに残せたわけではないですが、自分の強みや、強化していくべきところがはっきり分かりました。そこに向けてコーチの手も借りながら改善していったので、わからないまま終わるという感じではなかったのは良かったと思います。また体育学科の学生としては、先生方をはじめ様々な方と関わって、多くのことを学べたと思います。授業での課題がたくさんあっても、部活や練習をおろそかに

していいわけではないので、時間を上手く使うとか計画性を持った行動という点はできるようになったかなと思います。現状のまま、次のステップで世界と戦うのはかなり厳しいものがあると思いますが、まずは国内の社会人選手と競って、対等に戦えるぐらいのレベルに成長していきたいと思っています。在学中は、多くの同窓生やOB・OGからもご声援をいただいたことに感謝を申し上げます。これからは同窓生の一人として、世界を目指し、見たこと感じたことを大きな財産として、新たな目標に向けた挑戦をスタートしていきます。



©skiglamour

# 体育学科4年生 平尾 勇人(サッカー部・東京ヴェルディ内定)



©TOKYOVERDY

関東大学サッカーリーグの開幕もあり、現在は日本大学サッカー部の活動に参加させていただいていますが、昨年の夏以降、日程が合う際には特別指定選手として東京ヴェルディの活動にも参加し、Jリーグの試合に出場させていただいています。東京ヴェルディでの活動では、練習から大学サッカーでは経験できないようなプレースピードや高い技術に対応することに必死ではありますが、その中で日々自身の成長を実感しています。Jリーグと大学サッカーとの大きな違いは、「サッカーで生計を立てている」という点にあると感じています。プロの世界では、選手一人ひとりの熱量が非常に高く、どのプレーにおいても自らの価値を高めるために全力で取り組んでいる印象を受けています。一方で、大学サッカーではピッチ外の

側面において大きく成長できる環境であると感じています。組織に所属する中で、選手同士のルールや規律が重視されており、人としての成長にもつながっています。また、日本大学サッカー部では、ピッチ内外を問わず、選手一人ひとりが主体的に考え行動することが求められています。例えば、毎週火曜日の練習ではトレーニング班を中心にメニューを立案し、選手主体でトレーニングを行っています。プロの現場では与えられたメニューに取り組むことが中心となりますが、大学では自ら練習を構築し、指導者の視点から物事を捉える機会があるため、サッカー選手としてだけでなく、人間としても大きく成長できると感じています。

日本大学文理学部体育学科においては、生理学や運動生理学、解剖学、バイオメカニクスなどの学びを通して自身の身体への理解を深め、それらを競技にも活かしています。また、他競技の授業を履修することで、違った視点からスポーツを捉えることができています。

さらに現在は、セカンドキャリアも見据え、教員免許の取得を目指して学業に励んでいます。日本大学文理学部体育学科

の学生としては、卒業および教員免許の取得を目標に、日々努力しています。また、日本大学サッカー部の一員としては、今年は関東チャンピオンを目標に掲げ、日々の練習に取り組んでいます。これまで育てていただいたことへの感謝の気持ちを忘れず、目標達成という結果で恩返しができるよう頑張ります。さらに、東京ヴェルディの選手としては、より多くの試合に出場し、チームの勝利に貢献できるよう全力で取り組んでいきます。

日頃より、日本大学文理学部体育学科へのご支援、誠にありがとうございます。体育学科生として責任ある行動を心がけ、体育学科を代表できる選手になれるよう頑張ります。応援のほど、よろしく願いいたします。



©TOKYOVERDY

## 代議員会のご案内

### 令和8年度代議員会兼懇親会

令和8年度体育学科同窓会代議員会兼懇親会を、下記の日程で開催いたします。懇親会には、是非とも周りの同窓生にもお声がけいただき、多くの方にご参加いただけることをお待ちしております。詳細は下記をご確認ください。

記

日程 令和8年7月4日(土) ※お申し込みは6月28日(日)までをお願いいたします。

#### 【代議員会】

時間 13:30~14:00 (受付 13:00~)

会場 日本大学桜門会館3階 大会議室  
東京都千代田区五番町2-6

#### 【懇親会】

時間 14:00~16:30 (受付 13:30~)

場所 日本大学桜門会館4階 桜ホール

会費 3,000円



令和5年度開催の様子(於 桜門会館)

#### 専用フォームでの申込み

下記QRコードまたはURLよりお申し込みください。



[https://forms.gle/cHvJLqDb\\_b61bsRqC7](https://forms.gle/cHvJLqDb_b61bsRqC7)

#### メールでの申込み

taiiku.doso@gmail.comに下記を記載の上、お送りください。

[記載事項]

- ・ご氏名(ふりがな)
- ・卒業年度(期)
- ・ご連絡先(携帯電話番号)
- ・参加種別(全て参加/代議員会のみ/講演・懇親会のみ)

# 体育学科の「今」

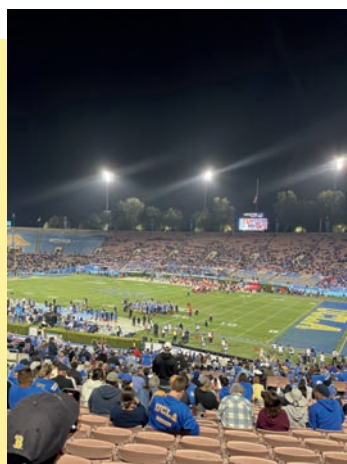
## 海外実地研究

体育学科では、「海外実地研究」の授業を立ち上げ、昨年9月(2025年9月9日~16日)、アメリカ・カリフォルニア州ロサンゼルスに総勢24名で現地実習を開催しました。

アメリカではスポーツが地域コミュニティに深く根付いており、カレッジスポーツやプロスポーツにはそれぞれ独自の文化があります。実習では、現地の教育機関やプロ・アマチュアのスポーツチーム、各種施設を訪問し、ス

ポーツが地域社会や教育に果たす役割を体験的に学びました。西海岸ならではのビーチや自然を活かしたアクティビティも体験しました。日本との違いや共通点を考察しながら、グローバルな視点でスポーツと社会の関わりへの理解を深めました。

なお、2026年度はドイツおよびオーストラリアでも同実習の実施を予定しています。海外でスポーツ文化を学ぶ機会がさらに広がります。

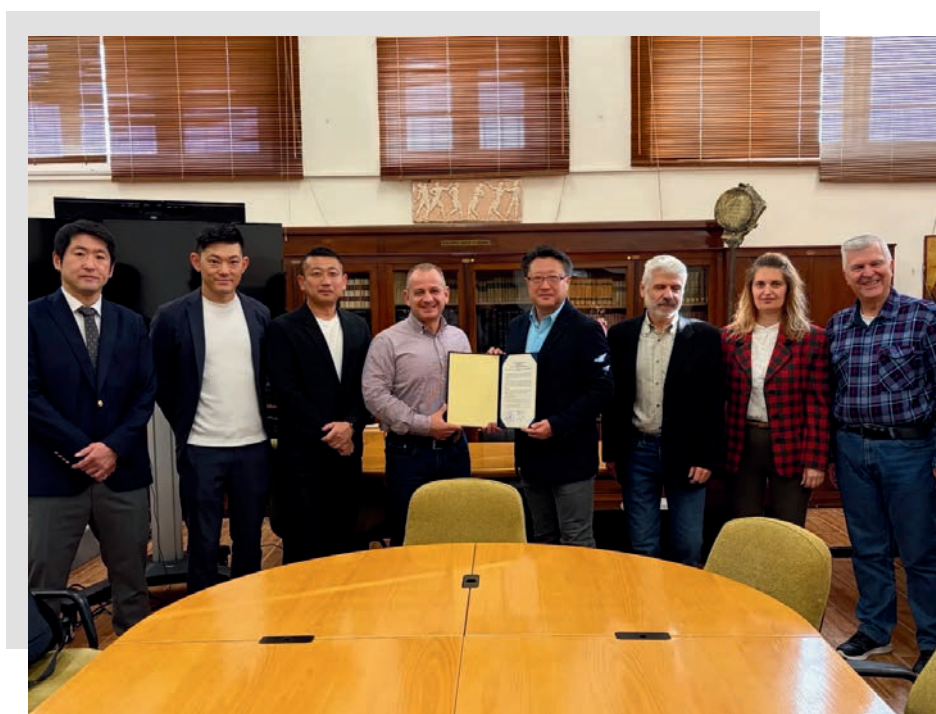


## アテネ国立カポディストリアン大学 協定

2025年11月、本学科は、ギリシャのアテネ国立カポディストリアン大学(National and Kapodistrian University of Athens)と、教育・研究分野における交流と連携を一層推進することを目的として、学術交流協定を締結しました。

アテネ国立カポディストリアン大学(<https://en.uoa.gr/>)は、ギリシャのアテネに1837年に開講された歴史ある大学です。

本協定により、両大学は「共同研究の推進」、「学生交流の促進」、「研究・教育資料の交換」を通じた連携を図り、国際的な教育・研究活動の推進して参ります。



# 写真で見る体育学科の「今」

## 各実習



キャンプ



## アイススポーツ



## オーシャンスポーツ



スノースポーツ

## ボッチャ大会



## 創作ダンス発表会



## 実習体育祭



## 新入生オリエンテーション

# インフォメーション

## 70th Anniversary

2028年 日本大学文理学部体育学科は創立70周年を迎えます。  
Department of Physical Education, College of Humanities & Sciences, Nihon University

### 日本大学文理学部体育学科 創設70周年記念式典

日本大学文理学部体育学科は、2027年度に創設70周年を迎えます。これもひとえに、卒業生、教職員、関係者の皆様の温かいご支援とご協力の賜物と、心より感謝申し上げます。この記念すべき節目を祝い、下記の通り記念式典を開催いたします。

開催日: 2027 (令和9) 年7月3日 (土)  
会場: アルカディア市ヶ谷(〒102-0073 東京都千代田区九段北4-2-25)

当日は、体育学科の歩みを振り返るとともに、皆様とともにこれまでの発展を祝い、今後のさらなる飛躍を展望する機会としたいと考えております。式典の詳細につきましては、今後、体育学科ホームページにて順次公開してまいります。また、70周年記念事業への協賛も広く募っております。皆様の温かいご支援とご協力をお願い申し上げます。

### 令和8年度 体育学科年間行事(関連行事含む)

開講式(文理学部百周年記念館) 4月2日  
入学式(日本武道館) 4月8日  
夏季オープンキャンパス(文理学部キャンパス) 7月12日  
オーシャンスポーツ実習(千葉県 岩井海岸) 8月2日~4日  
キャンプ実習(山梨県 尾白の森キャンプ場) 9月6日~9日  
秋季オープンキャンパス(文理学部キャンパス) 9月20日  
桜麗祭(文理学部キャンパス) 10月31日~11月1日  
実習体育祭(文理学部キャンパス) 11月中旬 詳細はHPにて  
創作ダンス発表会(文理学部百周年記念館) 12月13日 (予定)  
スノースポーツ実習(長野県 高天ヶ原スキー場) 12月24日~27日  
アイススポーツ実習(山梨県 富士急ハイランド) 2月1日~3日  
卒業式(日本武道館) 3月25日  
学位記伝達式(文理学部百周年記念館) 3月25日

### 事務局より会費納入のお願い

今年度会費納入の対象となっている同窓生には、払込取扱票を同封しております。そちらの用紙をお使いいただき、郵便局またはコンビニエンスストア等でお支払をお願い致します。同窓生の皆様には大変ご負担をお掛け致しますが、事業を円滑に進めていく上で皆様のご理解ご協力を賜りたいと存じます。

＜納入対象卒業期＞

5期 (S40卒) 10期 (S45卒)  
15期 (S50卒) 20期 (S55卒)  
25期 (S60卒) 30期 (H2卒)  
35期 (H7卒) 40期 (H12卒)  
45期 (H17卒) 50期 (H22卒)  
55期 (H27卒) 60期 (R1卒)

### 体育学科同窓会事務局

〒156-8550  
東京都世田谷区桜上水3-25-40  
日本大学文理学部体育学研究室  
Tell : 03(5317)9717  
Fax : 03(5317)9426  
Mail : taiku.doso@gmail.com  
HP : <http://www.nu-taiiku.jp/>



### 日本アプライドスポーツ科学会 (旧:桜門体育学会)より

2021年度より、桜門体育学会は【日本アプライドスポーツ科学会】に名称を変更し、新たなスタートを切っております。

学会会則や大会案内等は、日本アプライドスポーツ科学会ホームページをご覧ください。



<http://www.nu-taiiku.jp/>

### 会報発送について

昨年からは紙媒体での会報誌の発送は、会費を納入いただいている方を優先に送付させていただいております。今まで通りホームページにアップロードしておりますが、紙媒体の会報を希望されている方が周りにおりましたら、同窓会事務局までご相談ください。

### 同窓会へのご意見ご要望を 大募集!

より一層充実した同窓会事業の運営の為に、皆様のお力をお貸しください。会報やHPに掲載して欲しい情報、同窓会で実施して欲しいイベントなど、皆様のアイデアを下記専用フォームもしくは事務局へメール・電話等でお寄せ下さい。投稿者情報・内容は、同窓会事業の充実や円滑な運営のための必要な範囲内で適切に利用いたします。



<https://forms.gle/2fCrPTFpYXBAmGzEA>